

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	イーグル・アフガン明德カレッジ
2. 活動国・地域	日本・千葉県
3. 事業分野	日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	<ul style="list-style-type: none">・在日アフガニスタン人女性への日本語指導を行うとともに、登校して学習する参加者の子どもを対象として、学習時間中の託児活動を実施することを目的とする。・在日アフガニスタン人女性およびその家族に対し、生活指導を行うとともに、子どもを対象とした教育支援を実施することを目的とする。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	<p>千葉県には、日本国内に在住するアフガニスタン人の約半数にあたる約 3,000 人が居住しており、2021 年の政変以降、難民として来日する人々が増加している。一方で、日本語を学ぶ機会は限られており、日本での生活に不便を感じている人も多い。こうした課題に対応するため、当団体は 2023 年 11 月に授業料無料の日本語学校を開設し、現在も継続して運営している。授業は原則として週 1 回土曜日の午前中に実施している。</p> <p>学習者からは、日本語学習に加え、日本での生活に必要な事項の学習や生活指導、相互交流の機会を求める声が寄せられており、授業時間の延長を計画している。また、週 1 回の対面授業だけでは学習時間が不足するとの意見や、オンライン学習を希望する声もあり、現在、導入に向けた試行を行っている。</p>
6. 事業の意義・目的	本事業は、日本に在住する外国人が言語や生活習慣の違いによる不安を軽減し、地域社会との円滑な関係を築きながら自立した生活を送ることを支援するものである。また、子どもたちに対する学習支援や見守り活動を通じて、健全な成長と安定した学習環境の確保に寄与することを目的とする。
7. 主対象者（受益者）	・在日アフガニスタン女性およびその子どもたち
8. 実施期間	（西暦）2026年6月1日～2027年5月31日
9. 活動内容	<ol style="list-style-type: none">1. 在日アフガニスタン人女性を対象とした、毎週土曜日午前中の日本語講座を実施する。2. 日本語講座終了後、生活相談や相互交流を目的としたコミュニティ活動を実施する。3. 上記活動時間中において託児支援を行う。4. 学習者およびその子どもを対象とした生活および学習に関する継続的な支援を行う。
10. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人イーグル・アフガン復興協会
2. 主な活動内容	<ul style="list-style-type: none">・千葉市にある千葉明德学園において、毎週土曜日、日本語講座および生活指導を実施している。・何らかの理由により日本に在住しているアフガニスタン人女性およびその子どもを対象に、日本社会への円滑な定着を促進することを目的とした日本語教育および生活指導を行っている。